

平成29年11月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

目 次

(12月18日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	2
採決	4
5、審査結果報告書	7

平成29年11月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月日	曜	内 容 等
12月8日	金	分科会・常任委員会
12月11日	月	分科会・常任委員会
12月12日	火	分科会・常任委員会
12月13日	水	分科会・常任委員会
12月18日	月	委員会（分科会長報告・採決）

1 2 月 1 8 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所	〃	深堀 浩 君
平成29年12月18日	〃	中島 浩介 君
自 午前11時 0分	〃	山本 啓介 君
至 午前11時15分	〃	大久保潔重 君
於 本 会 議 場	〃	ごうまなみ 君

2、出席委員の氏名	〃	吉村 洋 君
委員 長 野本 三雄 君	〃	山本 由夫 君
副委員 長 前田 哲也 君	〃	宅島 寿一 君
委員 宮内 雪夫 君	〃	麻生 隆 君
〃 三好 徳明 君	〃	山口 経正 君
〃 田中 愛国 君	〃	近藤 智昭 君
〃 小林 克敏 君	〃	坂本 浩 君
〃 吉村 庄二 君	〃	里脇 清隆 君
〃 中山 功 君	〃	吉村 正寿 君
〃 橋村松太郎 君	〃	大場 博文 君
〃 溝口芙美雄 君	〃	宮本 法広 君

3、欠席委員の氏名	
委 員 外間 雅広 君	

4、委員外出席議員の氏名	
八江 利春 君	

5、県側出席者の氏名	
危機管理監	豊永 孝文 君
総務部長	吉浜 隆雄 君
企画振興部長	古川 敬三 君
企画振興部政策監	柿本 敏晶 君
文化観光国際部長	松川 久和 君
文化観光国際部政策監	田代 秀則 君
県民生活部長	木村伸次郎 君
環境部長	太田 彰幸 君
福祉保健部長	沢水 清明 君

こども政策局長	永松 和人 君
産業労働部長	平田 修三 君
産業労働部政策監	山下 和孝 君
水産部長	坂本 清一 君
農林部長	加藤 兼仁 君
土木部長	岩見 洋一 君

教育委員会教育長	池松 誠二 君
教育次長	本田 道明 君

会計管理者	野嶋 克哉 君
選挙管理委員会書記長	黒崎 勇 君
監査事務局長	辻 亮二 君
人事委員会事務局長 (労働委員会事務局長併任)	寺田 勝嘉 君
議会事務局長	山田 芳則 君

警務部長	壺岐 恭秀 君
------	---------

議会事務局職員出席者

総務課長	高見 浩 君
議事課長	篠原みゆき 君
政務調査課長	本田 和人 君
議事課課長補佐	増田 武志 君
議事課係長	小村あゆみ 君
議事課係長	小柳 正典 君
議事課主任主事	天雨千代子 君

6、審査の経過次のとおり

— 午前11時 0分 開会 —

【野本委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

これより議事に入ります。

まず、本日の委員会の会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、山田朋子委員、西川委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」ほか1件を議題といたします。

これより各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

吉村 洋総務分科会長。

【吉村(洋)総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

【野本委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

山本 由夫文教厚生分科会長。

【山本(由)文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算(第4号)」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

まず、「教育施設運営費」に関し、「債務負

担行為限度額約2億8千万円の算出根拠は、実績に基づくものか。」との質問に対し、「平成30年度から電力調達に入札を導入することに伴い、新電力での電力調達を予定している平成30年6月から来年度末までの10か月分を、過去の実績を基に算定したものである。」との答弁がありました。

次に、「児童措置費」に関し、「支援の内容や対象者数及び積算の根拠はどのようになっているのか。また、本県では、初の取り組みなのか。」との質問に対し、「事業内容は、児童養護施設等の入所者で20歳になり措置解除となった後も生活支援等が必要な場合に、引き続き22歳になる年の年度末まで支援を行うもので、今年度の対象予定者2名分の所要額を補正予算として計上したものである。また、国の新規事業で、県としても初の取り組みである。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされました。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【野本委員長】次に、環境生活分科会長の報告を求めます。

ごう環境生活分科会長。

【ごう環境生活分科会長】環境生活分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

まず、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分について、「ゼロ県債の設定」に関し、「今回、国交付金事業及び県単独事業で来年度予算化する事業を今年度前倒し発注可能とするため、債務負担行為を設定する、いわゆるゼロ県債についてであるが、これにより、年間の工事発注の平準化を図ることは、一定の評価をすところであるが、箇所配分について、地域のバランスは考慮されているのか。」との質問に対し、「ゼロ県債の設定においては、地域バランスや事業用地、

工事設計のストック等を考慮しながら、年度内の前倒し発注が可能な箇所を選定しているが、今年度当初の国からの予算内示で、特に離島地区が低かったこともあり、離島地区の工事量の安定化を図るため、積極的に離島地区の掘り起こしを行ったところである。」との答弁がありました。

これに対し、「県内全体が活性化できるよう、地域の平準化に重点を置きながら、ゼロ県債の設定と執行に取り組んでもらいたい。」との意見がありました。

次に、「公の施設の指定管理者の指定に伴う債務負担行為の設定」に関し、「県が負担する自然公園施設2箇所の管理運営費について、負担金の内訳は、どのようになっているのか。」との質問に対し、「金泉寺山小屋については、山頂付近の施設であるため、おがくずを使用したバイオトイレを設置しており、年数回のおがくずの入れ替えや、太陽光発電による攪拌システムの点検等に要する経費として年額40万円を負担している。また、田代原野営場については、野営場の維持管理のほか、休憩案内施設として併設しているトレイルセンターの維持管理等に要する経費として年額138万円を負担している。」

との答弁がありました。

これに対し、「過去から負担金が同額となっているが、妥当性について検証しているのか。」との質問に対し、「いずれの施設も指定管理者との毎年度の協定締結の際、維持管理内容及び金額の精査を行っている。なお、通常の維持管理の中では対応できない施設の改修等については、負担金とは別に県が直接対応している。」との答弁がありました。

以上のほか、環境生活関係の予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、環境生活分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【野本委員長】次に農水経済分科会長の報告を求めます。

大久保農水経済分科会長。

【大久保農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第83号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

「工芸作物振興対策費」に関し、「長崎玉緑茶の知名度向上及び消費拡大を図るためのPR活動の支援とあるが、県内各地にお茶の産地がある。そのPR活動はどのように行うのか。また、将来的な目標はどのように考えているのか。」との質問に対し、「本県では、そのぎ茶や県内全域で蒸し製玉緑茶が作られている。県内全域の玉緑茶を『長崎玉緑茶』としてPRしていく

こととしている。首都圏においては、『長崎玉緑茶』としての知名度が低いため、今回の全国茶品評会出展を機に、つながりができた茶商を通じ、『長崎玉緑茶』を首都圏で販売する足掛りを作っていくとともに、県民の方に県産のお茶を飲んでいただき、県内での県産茶のシェアを高めていきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「お茶を粉末にしたものを材料とした製品が開発されているが、『長崎玉緑茶』を生かした商品開発にも取り組み、知名度アップを図ってほしい。」との意見がありました。

以上のほか、農水経済関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【野本委員長】ありがとうございました。以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑・討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【野本委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【野本委員長】ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

それでは、今任期中の予算決算委員会は、本日が最後になるかと思いますので、閉会にあ

たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本年9月に、この予算決算委員会の委員長を仰せつかりまして、前田哲也副委員長をはじめ、委員の皆様方、理事者の皆様方のご協力を賜り、円滑に委員会を運営することができました。

この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、本委員会は、予算議案及び決算認定議案を審査対象に、常任委員会として設置されており、予算審査に関しましては、2月定例会において提案された平成29年度当初予算案をはじめ、9月定例会においては、松浦市沿岸における養殖魚赤潮被害緊急対策等に係る補正予算案を、また、衆議院の解散に伴う衆議院議員総選挙等の実施に係る補正予算案など予算議案全般について、分科会審査等を通じて活発な論議が展開されました。

また、決算審査に関しましては、予算が議決の趣旨及び目的に沿って適正かつ効率的に執行されたかどうかを検証し、今後の財政運営及び事業実施に当たって改善すべき事項について審査を行い、収入未済の縮減や予算繰越の縮減など決算全般にわたり熱心な論議が交わされました。

さて、本県では、人口減少や県民所得の低迷など構造的な課題を抱えており、本年9月に公表された「長崎県中期財政見通し」におきましても、今後も基金を取り崩しながらの財政運営を余儀なくされる見込みで、厳しい財政状況であります。

そのような中であっても、行政と議会が一体となって、互いに知恵を出し合いながら、予算の重点化・効率化に取り組んでいくことが重要であると考えておりますので、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と、今後益々のご活躍を祈念申し上げ、ごあいさつに代えさせてい

たきます。

誠に、ありがとうございました。

これをもちまして、11月定例会における予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

- 午前11時15分 閉会 -

平成29年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	議 案 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	環境 生活	農水 経済
予算議案	第 83 号	平成29年度長崎県一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○
	第 84 号	平成29年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算 （第1号）			○	

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

平成29年12月18日

予算決算委員会委員長 野本 三雄

議長 八江 利春 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 83 号 議 案	平成29年度長崎県一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
第 84 号 議 案	平成29年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決

計 2 件 (原案可決 2 件)

委 員 長 野 本 三 雄

副 委 員 長 前 田 哲 也

署 名 委 員 山 田 朋 子

署 名 委 員 西 川 克 己

書 記 小 村 あ ゆ み

速 記 (有)長崎速記センター